

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【公表番号】特表2002-509139(P2002-509139A)

【公表日】平成14年3月26日(2002.3.26)

【出願番号】特願2000-540125(P2000-540125)

【国際特許分類】

C 0 7 D 239/95 (2006.01)

A 6 1 K 31/517 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 239/95

A 6 1 K 31/517

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

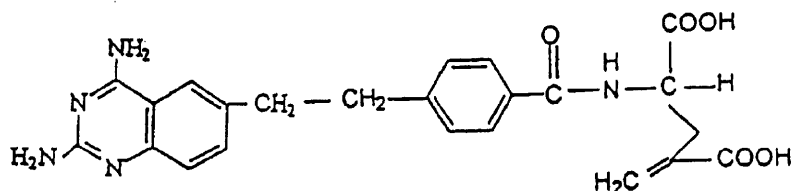
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】以下の化学構造、

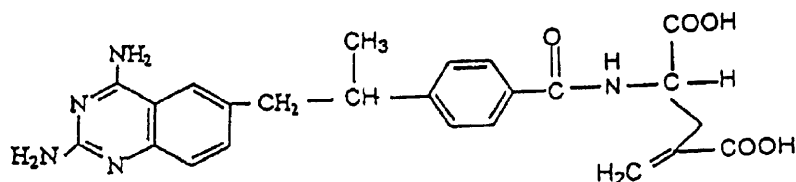
【化1】



を有する4-アミノ-4-デオキシ-5,8,10-トリデアザプテロイル-4'-メチレングルタミン酸(1)又は薬理学的に許容されうるその塩。

【請求項2】以下の化学構造、

【化2】

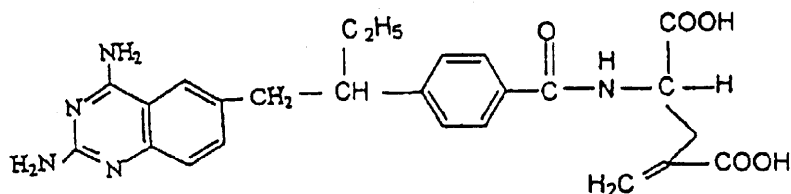


を有する4-アミノ-4-デオキシ-10-メチル-5,8,10-トリデアザプテロイル

ル - 4' - メチレングルタミン酸 ( 1 a ) 又は薬理学的に許容されうるその塩。

【請求項 3】 以下の化学構造、

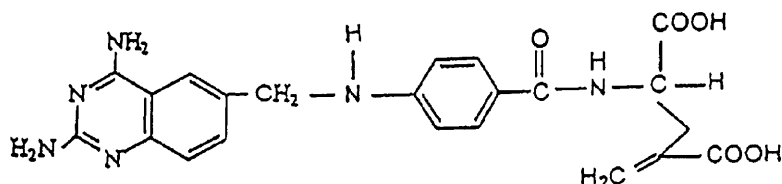
【化 3】



を有する 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - エチル - 5 , 8 , 10 - トリデアザプテロイル - 4' - メチレングルタミン酸 ( 1 b ) 又は薬理学的に許容されうるその塩。

【請求項 4】 以下の化学構造、

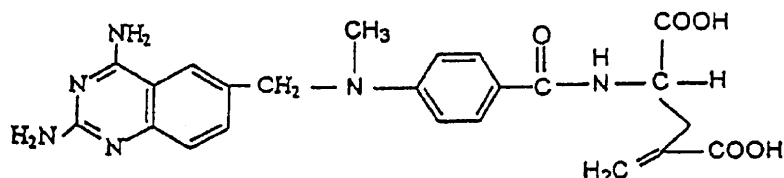
【化 4】



を有する 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 5 , 8 - ジデアザプテロイル - 4' - メチレングルタミン酸 ( 1 c ) 又は薬理学的に許容されうるその塩。

【請求項 5】 以下の化学構造、

【化 5】



を有する 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - メチル - 5 , 8 - ジデアザプテロイル - 4' - メチレングルタミン酸 ( 1 d ) 又は薬理学的に許容されうるその塩。

【請求項 6】 葉酸拮抗剤に応答する新生物の増殖を治療するための製薬的組成物であって、前記新生物の増殖を阻止するための、製薬的に許容されうる担体、希釈剤もしくは抗腫瘍剤を伴う若しくは伴わない、治療上有効な且つ無毒性量の 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 5 , 8 , 10 - トリデアザプテロイル - 4' - メチレングルタミン酸 ( 1 ) 又は薬理学的に許容されうるその塩を含む製薬的組成物。

【請求項 7】 葉酸拮抗剤に応答する新生物の増殖を治療するための製薬的組成物であって、前記新生物の増殖を阻止するための、製薬的に許容されうる担体、希釈剤もしくは抗腫瘍剤を伴う若しくは伴わない、治療上有効な且つ無毒性量の 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - メチル - 5 , 8 , 10 - トリデアザ - プテロイル - 4' - メチレングルタミン酸 ( 1 a ) 又は薬理学的に許容されうるその塩を含む製薬的組成物。

【請求項 8】 葉酸拮抗剤に応答する新生物の増殖を治療するための製薬的組成物であって、前記新生物の増殖を阻止するための、製薬的に許容されうる担体、希釈剤もしくは抗腫瘍剤を伴う若しくは伴わない、治療上有効な且つ無毒性量の 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - エチル - 5 , 8 , 10 - トリデアザプテロイル - 4' - メチレングルタミン酸 ( 1 b ) 又は薬理学的に許容されうるその塩を含む製薬的組成物。

【請求項 9】 葉酸拮抗剤に応答する新生物の増殖を治療するための製薬的組成物であって、前記新生物の増殖を阻止するための、製薬的に許容されうる担体、希釈剤もしくは抗腫瘍剤を伴う若しくは伴わない、治療上有効な且つ無毒性量の 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 5 , 8 - ジデアザプテロイル - 4' - メチレングルタミン酸 ( 1 c ) 又は薬理学的に許容されうるその塩を含む製薬的組成物。

に許容されうるその塩を含む、葉酸拮抗剤に応答する新生物の増殖を治療するための製薬的組成物。

【請求項 10】 葉酸拮抗剤に応答する新生物の増殖を治療するための製薬的組成物であって、前記新生物の増殖を阻止するための、製薬的に許容されうる担体、希釈剤もしくは抗腫瘍剤を伴う若しくは伴わない、治療上有効な且つ無毒性量の 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - メチル - 5 , 8 - ジデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 d ) 又は薬理学的に許容されうるその塩を含む製薬的組成物。

【請求項 11】 アレルゲンまたは自己免疫応答によって生ずる炎症を治療するための製薬的組成物であって、炎症を改善するための、製薬的に許容されうる担体もしくは希釈剤を伴う若しくは伴わない、治療上有効な且つ無毒性量の 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 5 , 8 , 10 - トリデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 ) 又は薬理学的に許容されうるその塩を含む製薬的組成物。

【請求項 12】 アレルゲンまたは自己免疫応答によって生ずる炎症を治療するための製薬的組成物であって、炎症を改善するための、製薬的に許容されうる担体もしくは希釈剤を伴う若しくは伴わない、治療上有効な且つ無毒性量の 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - メチル - 5 , 8 , 10 - トリデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 a ) 又は薬理学的に許容されうるその塩を含む製薬的組成物。

【請求項 13】 アレルゲンまたは自己免疫応答によって生ずる炎症を治療するための製薬的組成物であって、炎症を改善するための、製薬的に許容されうる担体もしくは希釈剤を伴う若しくは伴わない、治療上有効な且つ無毒性量の 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - エチル - 5 , 8 , 10 - トリデアザ - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 b ) 又は薬理学的に許容されうるその塩を含む製薬的組成物。

【請求項 14】 アレルゲンまたは自己免疫応答によって生ずる炎症を治療するための製薬的組成物であって、炎症を改善するための、製薬的に許容されうる担体もしくは希釈剤を伴う若しくは伴わない、治療上有効な且つ無毒性量の 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 5 , 8 - ジデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 c ) 又は薬理学的に許容されうるその塩を含む製薬的組成物。

【請求項 15】 アレルゲンまたは自己免疫応答によって生ずる炎症を治療するための製薬的組成物であって、炎症を改善するための、製薬的に許容されうる担体もしくは希釈剤を伴う若しくは伴わない、治療上有効な且つ無毒性量の 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - メチル - 5 , 8 - ジデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 d ) 又は薬理学的に許容されうるその塩を含む製薬的組成物。

【請求項 16】 新生物増殖を治療するための薬剤の製造における、製薬的に許容されうる担体、希釈剤もしくは抗腫瘍剤を伴う若しくは伴わない、4 - アミノ - 4 - デオキシ - 5 , 8 , 10 - トリデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 ) 又は薬理学的に許容されうるその塩の使用。

【請求項 17】 新生物増殖を治療するための薬剤の製造における、製薬的に許容されうる担体、希釈剤もしくは抗腫瘍剤を伴う若しくは伴わない、4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - メチル - 5 , 8 , 10 - トリデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 a ) 又は薬理学的に許容されうるその塩の使用。

【請求項 18】 新生物増殖を治療するための薬剤の製造における、製薬的に許容されうる担体、希釈剤もしくは抗腫瘍剤を伴う若しくは伴わない、4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - エチル - 5 , 8 , 10 - トリデアザ - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 b ) 又は薬理学的に許容されうるその塩の使用。

【請求項 19】 新生物増殖を治療するための薬剤の製造における、製薬的に許容されうる担体、希釈剤もしくは抗腫瘍剤を伴う若しくは伴わない、4 - アミノ - 4 - デオキシ - 5 , 8 - ジデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 c ) 又は薬理学的に許容されうるその塩の使用。

【請求項 20】 新生物増殖を治療するための薬剤の製造における、製薬的に許容されうる担体、希釈剤もしくは抗腫瘍剤を伴う若しくは伴わない、4 - アミノ - 4 - デオキシ

- 10 - メチル - 5 , 8 - ジデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 d ) 又は薬理学的に許容されうるその塩の使用。

【請求項 2 1】アレルゲンまたは自己免疫応答によって生ずる炎症性疾患を治療するための薬剤の製造における、製薬的に許容されうる担体もしくは希釈剤を伴う若しくは伴わない、4 - アミノ - 4 - デオキシ - 5 , 8 , 10 - トリデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 ) 又は薬理学的に許容されうるその塩の使用。

【請求項 2 2】アレルゲンまたは自己免疫応答によって生ずる炎症性疾患を治療するための薬剤の製造における、製薬的に許容されうる担体もしくは希釈剤を伴う若しくは伴わない、4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - メチル - 5 , 8 , 10 - トリデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 a ) 又は薬理学的に許容されうるその塩の使用。

【請求項 2 3】アレルゲンまたは自己免疫応答によって生ずる炎症性疾患を治療するための薬剤の製造における、製薬的に許容されうる担体もしくは希釈剤を伴う若しくは伴わない、4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - エチル - 5 , 8 , 10 - トリデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 b ) 又は薬理学的に許容されうるその塩の使用。

【請求項 2 4】アレルゲンまたは自己免疫応答によって生ずる炎症性疾患を治療するための薬剤の製造における、製薬的に許容されうる担体もしくは希釈剤を伴う若しくは伴わない、4 - アミノ - 4 - デオキシ - 5 , 8 - ジデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 c ) 又は薬理学的に許容されうるその塩の使用。

【請求項 2 5】アレルゲンまたは自己免疫応答によって生ずる炎症性疾患を治療するための薬剤の製造における、製薬的に許容されうる担体もしくは希釈剤を伴う若しくは伴わない、4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - メチル - 5 , 8 - ジデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 d ) 又は薬理学的に許容されうるその塩の使用。

【請求項 2 6】喘息を改善するための、製薬的に許容されうる担体もしくは希釈剤を伴う若しくは伴わない、治療上有効な且つ無毒性量の 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 5 , 8 , 10 - トリデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 ) 又は薬理学的に許容されうるその塩を含む、喘息を治療するための製薬的組成物。

【請求項 2 7】喘息を改善するための、製薬的に許容されうる担体もしくは希釈剤を伴う若しくは伴わない、治療上有効な且つ無毒性量の 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - メチル - 5 , 8 , 10 - トリデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 a ) 又は薬理学的に許容されうるその塩を含む、喘息を治療するための製薬的組成物。

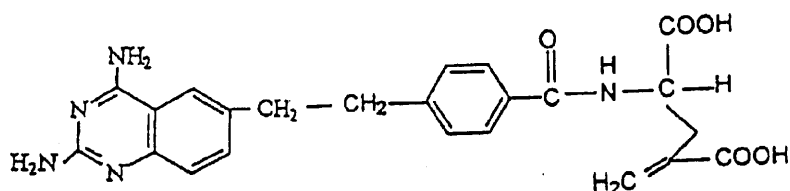
【請求項 2 8】喘息を改善するための、製薬的に許容されうる担体もしくは希釈剤を伴う若しくは伴わない、治療上有効な且つ無毒性量の 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - エチル - 5 , 8 , 10 - トリデアザ - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 b ) 又は薬理学的に許容されうるその塩を含む、喘息を治療するための製薬的組成物。

【請求項 2 9】喘息を改善するための、製薬的に許容されうる担体もしくは希釈剤を伴う若しくは伴わない、治療上有効な且つ無毒性量の 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 5 , 8 - ジデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 c ) 又は薬理学的に許容されうるその塩を含む、喘息を治療するための製薬的組成物。

【請求項 3 0】喘息を改善するための、製薬的に許容されうる担体もしくは希釈剤を伴う若しくは伴わない、治療上有効な且つ無毒性量の 4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - メチル - 5 , 8 - ジデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 d ) 又は薬理学的に許容されうるその塩を含む、喘息を治療するための製薬的組成物。

【請求項 3 1】以下の化学構造

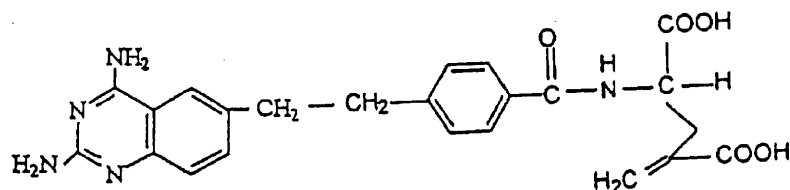
【化 6】



を有し、4 - メチレングルタメート部分が「L」配置である4 - アミノ - 4 - デオキシ - 5 , 8 , 10 - トリデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 ) 又は薬理学的に許容されうるその塩。

【請求項 3 2】 以下の化学構造

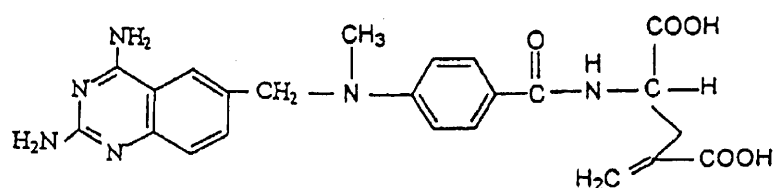
【化 7】



を有し、4 - メチレングルタメート部分が「D」配置である4 - アミノ - 4 - デオキシ - 5 , 8 , 10 - トリデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸 ( 1 ) 又は薬理学的に許容されうるその塩。

【請求項 3 3】 以下の化学構造

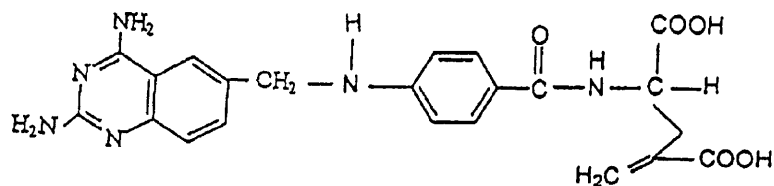
【化 8】



を有し、4 - メチレングルタメート部分が「L」配置である4 - アミノ - 4 - デオキシ - 10 - メチル - 5 , 8 - ジデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸又は薬理学的に許容されうるその塩。

【請求項 3 4】 以下の化学構造

【化 9】



を有し、4 - メチレングルタメート部分が「L」配置である4 - アミノ - 4 - デオキシ - 5 , 8 - ジデアザプテロイル - 4 ' - メチレングルタミン酸又は薬理学的に許容されうるその塩。

【請求項 3 5】 前記薬理学的に許容されうる塩が、ナトリウム塩若しくはカリウム塩である、請求項 1 ~ 5 及び 3 1 ~ 3 4 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 3 6】 前記薬理学的に許容されうる塩が、ナトリウム塩若しくはカリウム塩である、請求項 6 ~ 1 5 及び 2 6 ~ 3 0 のいずれか 1 項に記載の製薬的組成物。

【請求項 3 7】 前記薬理学的に許容されうる塩が、ナトリウム塩若しくはカリウム塩である、請求項 1 6 ~ 2 5 のいずれか 1 項に記載の使用。